

平成 27 年第 5 回可児市議会定例会 一般質問通告一覧表 9 月 8 日 (9 日・10 日)

	質問者	質問項目 (答 弁 者)
1	川上 文浩 (誠颯会)	<p>1. 今後、可児の新しい顔づくりをどのように進めるか (健康福祉部参事・建設部長・市民部長・企画部長・教育委員会事務局長・観光経済部長・総務部長)</p> <p>富田市長が再選されて 1 年が経過した。選挙公約でもある「若い世代が住みたいと感じる魅力あるまちの創造」を進めるため、可児の新しい顔づくりについて、今後の進め方について行政の考えを問う</p> <p>2. 市内踏切の安全確保について (建設部長)</p> <p>本年 7 月に市内名鉄広見線 (新可児 = 御嵩間) で踏切事故が 1 0 日間で 2 度も起こった。幸いこの事故による負傷者はでなかったものの、今後は踏切事故に対する安全対策をさらに進めなくてはならない。</p>
2	富田 牧子 (日本共産党 可児市議団)	<p>1. 帷子地区に若い世代を呼び込むために (企画部長・健康福祉部参事)</p> <p>市人口の 2 割が住む帷子地区は、市内で一番高齢化が進む地域でもある。団地の空き家も相当数に上っている。こうした帷子地区に、若い世代を呼び込み、地域を活性化する方策を問う。</p> <p>2. 予防接種の個別化実施を (健康福祉部参事)</p> <p>4 種混合ワクチン予防接種の個別化は、可児市・御嵩町以外の市町村では実施されている。来年度からは B 型肝炎の予防接種も始まるので、予防接種の個別化を可児市でも早期に実施すべきだ。</p>
3	澤野 伸 (誠颯会)	<p>1. 国の医療保険制度改革での本市の影響と今後の取り組みは。 (健康福祉部長)</p> <p>国は 2 0 1 8 年度から国保の財政基盤を安定させるため、運営を市町村から都道府県に移行させ、本年度から市町村への財政支援を拡充するとしたが、本市の影響は。また、医療保険制度改革での本市の取り組みや方針は。</p>
4	山田 喜弘 (可児市議会 公明党)	<p>1. 本市における地方創生と総合戦略について (企画部長)</p> <p>政府は昨年、まち・ひと・しごと創生法に基づく人口減少の克服と東京一極集中の是正のため、長期ビジョンと総合戦略を閣議決定した。本市における市長の考える地方創生と策定中の総合戦略について見解を問う。</p> <p>2. 若者の夢へのチャレンジ支援について (市民部長)</p> <p>若者が将来の夢を実現するためのチャレンジに対して、助成金を支給し若者を応援する取り組みについて本市の見解を問う。</p>

	質問者	質問項目（答弁者）
5	勝野 正規 (新輝クラブ)	<p>1. <u>有害鳥獣被害防止対策の取り組みについて問う（観光経済部長）</u> 近年、イノシシ・アライグマによる農作物への被害地域が拡大しつつある。併せて危惧されるのが、山間部にある公園などでの人的被害も予想される。本市の現状と今後の取り組みについて問う。</p>
6	板津 博之 (誠颯会)	<p>1. <u>夏季休暇中のキッズクラブの保育環境を問う（健康福祉部参事）</u> 今年の夏季休暇のキッズクラブでは、入室児童数が大幅に増加し、定員超過となるクラブが複数あったと聞いている。教室スペースや指導員の数は足りていたのか。長期休暇期間の保育環境を問う。</p>
7	伊藤 健二 (日本共産党 可児市議団)	<p>1. <u>共通番号（マイナンバー）制度の準備状況は（総務部長）</u> 国民共通番号は制度そのものに問題があり見直すべきものと思うが、年金機構の情報流失問題や新たに住民票コードの住所調査なども発覚した。市の自治体行政と給与等支払い事業者としての二重の責務について質す。</p> <p>2. <u>耐震改修促進のために、耐震診断補助の対象の拡大を（建設部長）</u> 6月議会で耐震診断補助の対象拡大を求めたが変りない。国の助成制度で、昭和56年以降の家屋にも、耐震診断助成を受けている事例があるので、改めて前向きな検討を行うよう市の考えを問い質す。</p>
8	山根 一男	<p>1. <u>認知症サポーターの現状と今後（健康福祉部長）</u> 厚生労働省によると2025年には認知症の高齢者が700万人に上り、65歳以上の高齢者の5人に1人を占めるといふ。急激に高齢化が進む本市にとって、認知症サポーターを増やすことは急務である。</p> <p>2. <u>人口増の具体的方策は（企画部長）</u> 人口をいかに維持してゆくかは、今後の市政運営の上でも最上位の課題であると考えます。市は、国の「ひと・まち・しごと創生総合戦略」に合わせてその戦略を構築中であるが、より具体的な政策が求められる。</p>
9	田原 理香 (誠颯会)	<p>1. <u>可児市第四次総合計画のあり方について問う（企画部長）</u> 「参画」と「協働」による“市民中心のまちづくり”を基本理念とした第四次総合計画の位置づけ及び前期計画の評価・総括と後期計画の策定方法についてお尋ねします。</p> <p>2. <u>平成27年度 富田市長の施政方針について問う（企画部長）</u> 市長の云う「市民力」とは何か。また、施政方針にある「市民力」を発揮するため及び「住みごこち一番の可児」を実現するための方策をお尋ねします。</p>

	質問者	質問項目（答弁者）
10	高木 将延 （誠颯会）	<p><u>1.自治会加入について、今後の方針を問う（市民部長・総務部長）</u> 現在、自治会加入率平均63.8%であるが、対応如何によっては低下も予想される。地域防災、市民サービスの公平性の面から加入率向上への取り組みや方針を問う。</p>
11	天羽 良明 （誠颯会）	<p><u>1.本市の平和行政を推進するための取組みは？（教育長・総務部長）</u> 戦後70年を迎えた今、悲惨な紛争や戦争のない世界を実現し未来ある子ども達に豊かな自然と歴史文化のまちをつなぐための平和行政のあり方を問う。</p> <p><u>2.市道43号線改良工事後の周辺道路の今後について（建設部長）</u> 市道43号の整備を踏まえ、市道42号と南側の都市計画道路との関係は？</p>

この一覧表は、議員から提出された発言通告書の件名・要旨欄からそのまま掲載したものです。